

## NEWS & TOPICS

### 2016年度 シーズンラインナップ発表！

### 音楽監督 ジョナサン・ノット 2026年3月まで 任期延長



9月7日(月)、ミューザ川崎シンフォニーホールにて記者会見を開き、2016年度シーズンラインナップ及び音楽監督ジョナサン・ノットの任期延長を発表しました。あいにくのお天気にもかかわらず、報道陣のみならず100名近くのサポート会員&定期会員の皆様にお越しいただきました。

まず、理事長 澤田秀雄から「2020年までのノット監督の任期延長を発表する予定でしたが、つい先ほど2026年まで延長するということが決まりました」と発表があると、会場からは驚きの声と拍手が。専務理事・楽団長 大野順二は「ノット監督とともに世界を目指していきたい」として今後の意気込みを述べ、マイクはノット監督へと渡されました。

### ノット監督の次なる挑戦

みなさま、3回目のシーズンによるこそ。

私は昨日、演奏会でモーツァルトを指揮しながら「なんと素晴らしい音楽なのか」と大きな喜びを感じ、「この関係は確実にもっと長く続けなければならない」と強く思いました。オーケストラがイエスと言うかは全く分かりませんでしたが、このことが私の中で非常に重要であることは間違いありませんでした。そこで、「クレイジーなアイデアかもしれないけれど、どうだろうか」と、非常に興奮した気持ちで提案したのです。

東京交響楽団は素晴らしく、ホールも聴衆も素晴らしい。私は東京にいるというだけで大きな喜びを感じており、この都市に音楽作りのあるべき姿を見出しています。

また、東京や川崎はすでに第2の故郷のように感じています。最近、このオーケストラのある面をとて気に入っているのですが、それは単に端正に演奏するのではない、情熱やエスプリというものを見せてくれるところです。

all photos by ヒダキトモコ

# NEWS & TOPICS

思い起こすと、私はこのオーケストラと1回のコンサートをご一緒ただけで、音楽監督になってもらえないだろうかと言われ、私は1日考えただけでイエスと答えてしまいました。その後も、シーズンが始まって1年も経たないうちに私たちは次の契約を結び、そして今は3年ではなくもっと大きな流れの中で音楽作りを進められたらと思っています。

## Season3の幕開けは……

音楽を分かちあうことは、人生を分かちあうことと同じだと考えています。例えば、マーラーの《交響曲 第3番》は、一曲の中に世界のすべてが詰まっています。人間の様々な経験、様々な人生がそこに圧縮されているのです。このように、私は音楽を人生経験を分かち合う手段と捉えながら、プログラム作りに臨んでいます。

もちろんマーラーの3番やブルックナーの8番のように、1曲で人生を網羅することもできなくはありませんが、2016年シーズン最初の4月の東京オペラシティシリーズでは、リゲティの3曲とR.シュトラウスの《ツァラトゥストラはかく語りき》を組み合わせました。「人生とは何か」「世界とは何か」というニーチェの考えをもとにしたR.シュトラウスのこの名曲は、さまざまな音楽のラインが交わることなく非常に現代的な世界をつくりあげています。映画監督キューブリックが「2001年宇宙の旅」で取り上げた曲としても知られますが、現代に生きる私たちにとってはR.シュトラウスが想像していた以上の存在になっているでしょう。



サポート会員・定期会員の皆様とノート監督



一方、リゲティの3曲は非常に複雑ですが、比較的聴きやすい作品です。私はこの20世紀のポリフォニーを、古い時代のイギリスのポリフォニーと対比させてみたい。大編成のオーケストラがあれば、ヴィオラ・ダ・ガンパの四重奏もあり、パーセルを聴いた後はリゲティの音楽のラインが聴きとりやすくなるでしょう。このように異なる時代を行き来するのは非常に難しいことですが、私はこうした音楽を取り上げながら人生の様々な面を旅することが大好きです。

## モーツァルトのオペラに挑む

そして、皆様にもう一つご紹介したいのは、モーツァルトの歌劇《コジ・ファン・トゥッテ》です。川崎市はザルツブルク市と姉妹都市という関係でもありますが、何よりも、コンサート形式の演奏は、聴衆と演奏者が向かい合い、ピットに隠れずに参加型でコンサートに臨めるからとても好きなのです。また、今回特に楽しみなのは、全てのレチタティーヴォを私がハンマークラヴィアで演奏するということです。オーケストラと一丸となって聴衆を巻き込んでいく、特別なコンサートになるのではないかと楽しみにしています。

今後も皆様とこのような関係が続いていくことと思いますが、引き続きよろしく願いいたします。

### ■2016年度定期会員券

一般発売 12/1(火) / 東響会員先行発売 11/24(火)

### ■2016年度選べるプラン・1回券

一般発売 2016年1/14(木)  
東響会員先行発売 2016年1/7(木)

## 2016/2017年 シーズンラインナップ

ノット監督は6演目9公演に登場し、ブラームスやシューマン、ブルックナーやショスタコーヴィチを中心に据えながら、デュティユー(生誕100年)や武満徹(没後20年)ら近現代の音楽を取り上げます。

特にシーズン初めの4月の東京オペラシティシリーズでは、パーセルからリゲティまで大きく時代をまたぎ、定期&川崎定期演奏会ではシェンベルクにブラームスの《ドイツ・レクイエム》を組み合わせるなど、ノット監督ならではの意欲的なプログラムをお楽しみいただけます。

さらに、桂冠指揮者スダーンによるベルリオーズの劇的物語《ファウストの劫罰》のほか、注目の若手指揮者で、今回が東響デビューとなるルスティオーニのロシア・プログラム、桂冠指揮者秋山和慶のフランス・プログラムなど、2016年度も注目の公演が目白押しです。

## 70周年記念 ヨーロッパ・ツアー

2016年10月に創立70周年を記念して、ノット監督とともに15年ぶりのヨーロッパ・ツアーを行うことを発表しました。プロツワフ(ポーランド)、ザグレブ(クロアチア)、ウィーン(オーストリア)、ロッテルダム(オランダ)、ドルトムント(ドイツ)の5都市に招かれての公演であり、2つのプログラムを披露して国際交流を図ります。

プログラムAは、ベートーヴェンの《ヴァイオリン協奏曲》(独奏:イザベル・ファウスト)とショスタコーヴィチの《交響曲 第10番》、プログラムBは、東響の委嘱作品である武満徹の《弦楽のためのレクイエム》にドビュッシーの《海》、そしてノット監督が大切にきたためきたブラームスの《交響曲 第1番》です。国内でも、それぞれ10月15日(土)の第645回定期演奏会、10月9日(日)の東京オペラシティシリーズ第94回にて同プログラムの公演が予定されています。どうぞご期待ください。



舞台上でノット監督を囲む報道陣